

## ESTクリニック グループ(医療法人社団クロス・トゥ・ユー)

# リフレッシュ休暇 / 子の看護休暇 / 育児休業取得の促進

### 男女が共に働きやすい職場づくりに向けて

当院は、地域に密着した「何でも相談できる総合的な医療施設」(プライマリ・ケア)として、継続的治療を根幹とした医療サービスの提供を基本理念に掲げています。基本理念を実践する上で、医療分野の専門職をはじめとするスタッフが安心して継続的に働くことができる環境作りは欠かせません。

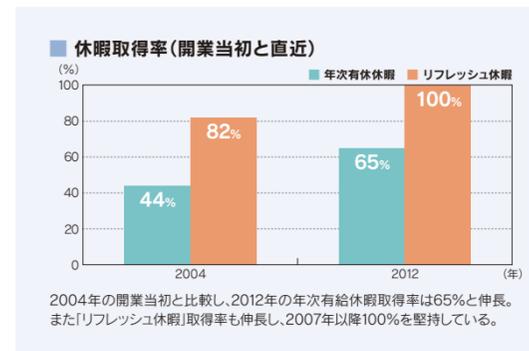
当院のスタッフの約85%はいわゆる“子育て世代”で占められています。看護師などの女性スタッフが、結婚・出産・育児・介護により最前線からの一時撤退や現役引退を余儀なくされないことがないよう、女性スタッフ、またその家族をサポートする仕組みを作るとともに、男女が共に働きやすい職場の実現に取り組んでいます。



### スタッフの声を独自の両立支援策に反映

当院では、法定以上の年次有給休暇を付与し、取得率も65%(2012年度)と、医療施設としては高い水準を実現しています。さらに開業当初(2004年)に導入した「リフレッシュ休暇」は、年

2日、通常の年次有給休暇とは別に、取得できるようにしており、2007年以降、毎年100%の取得率を達成しています。



また、子育て支援に関する休暇制度として「子の看護休暇」を拡充しています。育児・介護休業法では子の看護休暇は子ども1人につき1年に5日と定められていますが、当院では10日付与しており、冬のインフルエンザ流行期などに活用されています。「子の看護休暇」に加え、産前・産後休業、育児休業を取りやすくする取り組みや、働きやすい勤務制度作りにも注力し、複合的な支援で育児・家庭と仕事の両立をサポートしています。

子育て支援を充実させるプロセスは、まず全スタッフを対象にヒアリングを実施することからスタートしました。さまざまな立場からの懸念をすくい上げた結果、多様な「仕事と家庭の両立支援策」と、「管理職層を含めた職場の意識改革」が必要不可欠なことがわかりました。そこで、「長期休暇取得者のための代替要員の確保」、「休暇中の能

### ここに注目!! (部分とリンクしています)

- 導入に至るまでの背景
- 導入の目的
- 導入のプロセス
- 導入後の効果
- 今後の目標

力維持や能力アップも可能な講習プログラム等の実施」、「管理職層への啓発を行う研修の実施」、「休暇取得者のための相談窓口の設置」などさまざまな施策を行いました。

また、スタッフの小学校就学前の子どもを対象とした託児所を設置し、病児保育や365日の保育受け入れ、業務上の突発的な事情による一時預かりなど、医療施設ならではの取り組みも行っています。

さらに、正職員待遇のままで短時間勤務ができる「育児短時間勤務制度」もあり、法定では「3歳まで」ですが、当院では「小学校就学前まで」としています。ただしスタッフからは「小学校低学年期は子どもの帰宅が早く、1人での留守番が不安」といった声が多いことから、小学校3年生までとする範囲の拡大も検討しています。

### 両立支援と意識改革から生まれた成果

両立支援策の整備とともに全スタッフの意識改革を行った結果、業績は開業以来最高を記録しました。また、管理職層などへの両立支援研修などで、管理職層とスタッフとのコミュニケーションがそれまで以上に増えたことにより、意思の疎通がスムーズに行われるようになったと、院内各所から声が上がりました。育児や家庭と仕事の両立の悩み、職場環境などを理由とした退職もなくなり、大きな成果が現れたと考えています。

CEO(最高経営責任者)  
医学博士  
角田 悟さん



会社データ  
【事業内容】総合医療施設  
【従業員数】131名(2013年10月1日現在)  
【年次有給休暇の取得率】65%  
【年間休日数】104日  
【URL】<http://www.estclinic.com/>

## 制度活用事例



病棟看護師  
石澤 志帆さん(左)  
岩崎 恵さん(右)  
【リフレッシュ休暇】

### いろいろ「リフレッシュ」しています!

年2日の「リフレッシュ休暇」は毎年利用しています。通常の休日や年次有給休暇などと組み合わせ、ちょっと長めの休暇にして友だちと旅行に出かけたり、ショッピングに行ったりと、いろいろと有意義に活用しています。言葉のイメージもあると思いますが、「リフレッシュ休暇」と言うと、通常の年次有給休暇よりも使いやすい、気にしないで使えるという気がしますね。(石澤さん)

私も「リフレッシュ休暇」は必ず利用させてもらっています。「何してた?」「どこ行ったの?」という会話も院内でよく聞かれますし、スタッフ同士のコミュニケーションに役立っている気がします。医療は人材難に悩む業界の一つですけど、私たちの病院の休暇制度や託児所などの体制・環境は、スタッフの募集や定着に、とっても役立っていると思いますね。(岩崎さん)